

# 感染状況・医療提供体制の分析(6月22日時点)

【岡山県専門家有志】  
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (6月15日時点)	現在の数値 (6月22日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	1411人 (75.2人)	1302人 (69.4人)	→	感染状況コメント レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要	
		60歳以上 (総数に占める割合)	149人 (11%)	141人 (11%)	→		
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	722人	632人	→	新規陽性者は <u>人口10万人当たり69人</u> と減少も、減少傾向は鈍化。60歳以上陽性者数はほぼ変わらない。医療機関や高齢者施設でのクラスターも散発的に発生している。 全国的には増加の兆しが見られる地域もある。ワクチン3回目接種で獲得した免疫の減少、梅雨時期の室内活動の増加、国内移動の増加、出入国制限の緩和など、陽性者再増加に転じる要因も多い。メリハリの感染対策の継続を。	
		県南西部	501人	447人	→		
		高梁・新見	32人	19人	→		
		真庭	26人	17人	→		
		津山・英田	129人	187人	→		
	市中潜在・感染	③新規陽性者における接触歴不明者	数	425人 (調査中を除く)	362人 (調査中を除く)		→
			割合 (③/①)	37.3% (調査中を除く)	34.9% (調査中を除く)		→
	医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		71人 (13%)	53人 (10%)		→
⑤宿泊療養者数		49人	54人	→	感染者数減少に伴い、入院患者、自宅療養者数は減少。通常医療が提供可能な体制が維持できている。		
⑥自宅療養者数		1582人	1338人	→			
⑦重症者数		1人	1人	→			